

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 人工知能学科    |                 | 科 目 区 分                             | 基礎分野 | 授業の方法                 | 講義                       |
|--|-----------|-----------------|-------------------------------------|------|-----------------------|--------------------------|
| 科 目 名  | キャリア開発講座Ⅱ |                 | 必修/選択の別                             | 必修   | 授業時数(単位数)             | 60 (4) 時間(単位)            |
| 対 象 学 年  | 2年        |                 | 学期及び曜時間                             | 通年   | 教室名                   | 402教室                    |
| 担 当 教 員  | 染川 智弘     | 実務経験と<br>その関連資格 |                                     |      |                       |                          |
| <b>《授業科目における学習内容》</b><br>就職試験で実施される筆記試験は、SPI試験を採用している企業が多く、SPIは数学などの能力を問う非言語能力試験と、国語力を問う言語能力試験の二種類が実施される。本講義では、特にこの非言語能力試験の対策に重点を置き、非言語能力試験の文章問題が解けるようになること、そして就職試験の筆記試験を通過するために、必要な基礎的な知識を身につけること目標とする。 |           |                 |                                     |      |                       |                          |
| <b>《成績評価の方法と基準》</b><br>1. 定期試験:60%      2. 小テスト:10%      3. 授業態度:10%      4. 出席状況:20%  |           |                 |                                     |      |                       |                          |
| <b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b><br>SPI試験でよく見られる問題を、プリントを用いて学習する。  |           |                 |                                     |      |                       |                          |
| <b>《授業外における学習方法》</b><br>就職試験の筆記試験は、当然ですが、この授業を受ければ通過できるよくなるという訳ではありません。理由は企業によって、筆記試験の合格点が異なったり、また難易度も異なるからです。もし、本気で第一志望の企業の試験を通過したいと思うのであれば、この授業以外に自分で、就職試験の参考書を買って、取り組むことを勧めます。                        |           |                 |                                     |      |                       |                          |
| <b>《履修に当たっての留意点》</b><br>この授業は、自分たちが勉強する前の導入授業として捉え、就職活動は、さらに自分自身が授業以外で努力することが大切であることをしっかりと意識して、授業に出席してください。  |           |                 |                                     |      |                       |                          |
| 授業の方法  | 内 容       |                 |                                     | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |                          |
| 第1回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 自分の実力を認識し、講義で到達すべき目標について理解することができる。 | プリント |                       | テストを見直し、不正解の問題を復習する。     |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 実力診断テスト                             |      |                       |                          |
| 第2回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 金銭に関する問題、仕事算についての問題が解けるようになる。       | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(金銭に関する問題、仕事算)                 |      |                       |                          |
| 第3回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 速さ・時間・距離、移動の問題についての問題が解けるようになる。     | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(速さ・時間・距離、移動の問題)               |      |                       |                          |
| 第4回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 金銭に関する問題、仕事算についての問題が解けるようになる。       | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(濃度算、植木算)                      |      |                       |                          |
| 第5回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 同意語・反意語、二語の関係についての問題が解けるようになる。      | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 言語分野(同意語・反意語、二語の関係)                 |      |                       |                          |

| 授業の方法 |      | 内 容         |  | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容        |
|-------|------|-------------|--|------|--------------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | n進法、進路・方角についての問題が解けるようになる。                   | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(n進法、進路・方角)                             |      |                          |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 順列・組み合わせ、確率についての問題が解けるようになる。                 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(順列・組み合わせ、確率)                           |      |                          |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 推論①、推論②についての問題が解けるようになる。                     | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(推論①、推論②)                               |      |                          |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ことわざ・慣用句、文法、敬語についての問題が解けるようになる。              | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 言語分野(ことわざ・慣用句、文法、敬語)                         |      |                          |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 論証と命題、資料の整理についての問題が解けるようになる。                 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(論証と命題、資料の整理)                           |      |                          |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ブラックボックス、モノの流れと比率についての問題が解けるようになる。           | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(ブラックボックス、モノの流れと比率)                     |      |                          |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 集合、表やグラフの判断についての問題が解けるようになる。                 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(集合、表やグラフの判断)                           |      |                          |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 文章整理と序列、長文の読み取りについての問題が解けるようになる。             | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 言語分野(文章整理と序列、長文の読み取り)                        |      |                          |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 立体図形についての問題が解けるようになる。                        | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 非言語分野(立体図形)                                  |      |                          |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 本講義内容を理解し、就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | —    | これまでの授業内容を復習し、理解すること。    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。                         |      |                          |

2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 人工知能学科    |                 | 科 目 区 分                                       | 基礎分野 | 授業の方法                 | 講義                       |
|--|-----------|-----------------|---|------|-----------------------|--------------------------|
| 科 目 名  | キャリア開発講座Ⅱ |                 | 必修/選択の別                                       | 必修   | 授業時数(単位数)             | 60 (4) 時間(単位)            |
| 対 象 学 年  | 2年        |                 | 学期及び曜時限                                       | 通年   | 教室名                   | 402教室                    |
| 担 当 教 員  | 染川 智弘     | 実務経験と<br>その関連資格 |   |      |                       |                          |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>就職試験で実施される筆記試験は、SPI試験を採用している企業が多く、SPIは数学などの能力を問う非言語能力試験と、国語力を問う言語能力試験の二種類が実施される。本講義では、限られた試験時間の中で効率良く問題を解けるようになること、そして就職試験の筆記試験を通過するために、必要な基礎的な知識を身につけること目標とする。</p> |           |                 |   |      |                       |                          |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:50%      2. 小テスト:20%      3. 授業態度:10%      4. 出席状況:20%</p>  |           |                 |   |      |                       |                          |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>SPI試験でよく見られる問題を、プリントを用いて学習する。</p>  |           |                 |   |      |                       |                          |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>就職試験の筆記試験は、当然ですが、この授業を受ければ通過できるようになるという訳ではありません。理由は企業によって、筆記試験の合格点が異なったり、また難易度も異なるからです。もし、本気で第一志望の企業の試験を通過したいと思うのであれば、この授業以外に自分で、就職試験の参考書を買って、取り組むことを勧めます。</p>       |           |                 |   |      |                       |                          |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>この授業は、自分たちが勉強する前の導入授業として捉え、就職活動は、さらに自分自身が授業以外で努力することが大切であることをしっかりと意識して、授業に出席してください。</p>  |           |                 |   |      |                       |                          |
| 授業の方法  | 内 容       |                 |   | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |                          |
| 第16回   | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 自分の実力を認識し、講義で到達すべき目標について理解することができる。           | プリント |                       | テストを見直し、不正解の問題を復習する。     |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 復習テスト   |      |                       |                          |
| 第17回   | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 年齢算についての問題が解けるようになる。                          | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(年齢算)                                    |      |                       |                          |
| 第18回   | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 虫食い算についての問題が解けるようになる。                         | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(虫食い算)                                   |      |                       |                          |
| 第19回   | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | グラフの領域・平面図形についての問題が解けるようになる。                  | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 非言語分野(グラフの領域・平面図形)                            |      |                       |                          |
| 第20回   | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント |                       | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 実践テスト①  |      |                       |                          |

| 授業の方法 |      | 内 容         |   | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容    |
|-------|------|-------------|---|------|--------------------------|
| 第21回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 実践テスト②  |      |                          |
| 第22回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 実践テスト③  |      |                          |
| 第23回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 実践テスト④  |      |                          |
| 第24回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 実践テスト⑤  |      |                          |
| 第25回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 実践テスト⑥  |      |                          |
| 第26回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 模擬テスト①  |      |                          |
| 第27回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 模擬テスト①解答および解説                                 |      |                          |
| 第28回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 模擬テスト②  |      |                          |
| 第29回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 限られた試験時間の中で就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 模擬テスト②解答および解説                                 |      |                          |
| 第30回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 本講義内容を理解し、就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。  | —    | これまでの授業内容を復習し、理解すること。    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。                          |      |                          |